

藤沢湘南学会 研究助成基金

成果報告書

～タイ現代社会の性別に対する考え方と人身売買との関係～
人身売買の対象者を支援する NGO/NPO との研究調査～

慶應義塾大学 環境情報学部 3年
学籍番号 71446172
戸谷 知尋

活動概要

実施方法：フィールドワーク

活動日：2016年 8月 31日～ 2016年 9月 11日

実施場所：バンコク・チェンマイ、タイ

活動スケジュール

8月31日 (22:30)日本出発/9月1日(10:35)バンコク到着/(19:50)バンコク出発

9月2日 (21:00)チェンマイ到着 バーンロムサイ訪問

9月3日 バーンロムサイ ボランティア活動

9月4日 MAP Foundation アンケート調査

9月5日 クルム・プアン・チェンマイ ボランティア活動

9月6日 クルム・プアン・チェンマイ ボランティア活動

9月7日 クルム・プアン・チェンマイ アンケート調査実施

9月8日 (10:00)チェンマイ出発

(11:15)バンコク到着 Empower Foundation アンケート調査

9月9日 チュラーロンコーン大学訪問「女性支援」を議題にディベート

9月10日 (17:55)バンコク出発/9月11日(13:00)日本到着

活動目的

2000年に人身取引議定書が採択され、人身取引の定義が明確になってから、

国際社会では被害者保護・支援事業、防止のための啓発が多国間で地域を超えた協力事業が実施されてきた。しかし、人身売買の実態を把握するのは容易ではない。本フィールドワークはタイ現代社会の人身売買対策において被害者、特に女性や子どもを中心にアプローチする NGO 団体の「被害者の保護と支援」について考察するものである。さらに、人身売買が起きる社会的背景を、タイの現代社会の性別に対する考えについて基づき理解を深める。

活動成果

今回のタイ、チェンマイ・バンコクでの NGO/NPO 訪問では、各団体が行っているプロジェクトの成果をより詳しく知ることが出来た。例えば、クルム・プアン・チェンマイが実際にボランティア活動を行っている現場に同行させてもらい、現地支援を行うにあたっての数々の困難を、目の当たりした。また、MAP Foundation のインタビュー調査の際に、山岳民族が人身売買の結果以前よりも生活水準が高くなった例などを知り、「何が支援対象者にとって望ましい支援なのか」考えさせられた。さらに、各団体に対して行ったアンケート調査によってタイ、チェンマイ市内における NGO/NPO の支援が果たしてどのようなエンパワーメントに繋がるのか NGO/NPO の視点、支援される対象者の評価等のデータを得られた。

今後の課題

今回のアンケート調査は、現地活動をする NGO/NPO が「今までどのような課題に直面してきて、どのように解決してきたのか」を知ることが出来たため、現地で活動する NGO が抱える人身売買の被害者支援の課題とその解決に向けた方向性についてどのようなアプローチを行えばいいのか、より深く研究する上での土台となった。最終的に、その成果を卒業論文で取り扱うテーマ、「経済開発と女性」に結びつける予定である。

謝辞

本調査の実施にあたり、資金面でのご支援をいただいた湘南藤沢学会様に厚く御礼申し上げます。